

2 1 循環器・呼吸器病センター排水処理施設設備改修工事

※以降の図面中の工事名称は上記工事に読み替える

図面リスト	
図面番号	図面名称
M-0 1	機械設備工事特記仕様書（1）
M-0 2	機械設備工事特記仕様書（2）
M-0 3	配置図・案内図
M-0 4	汚水処理施設システム系統図
M-0 5	汚水処理施設設備図
M-0 6	汚水処理施設沈殿槽部分詳細図
M-0 7	汚水処理施設機器整備リスト

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主幹	主任	担当

機械設備工事特記仕様書

工事概要

1 工事名称	2 1循環水・呼吸器病センター排水処理施設設備改修工事
2 施工場所	埼玉県熊谷市板井 1696
3 工期	契 約 日 から 令和 4 年 3 月 18 日
現場施工期間	令和 3 年 1 月 1 日 から 令和 4 年 2 月 28 日

現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物概要

建物名稱	構 造	階 数	延面積 (m ²)	消防法施行 令別表第一	備 考
①汚水処理棟	R C 造	地上 2 階建	268.34		
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目(●印を付いたものを適用する。)

建物別及1屋外		工事種別					屋外
工事種別	目	①	②	③	④	⑤	屋外
○ 空気調和設備	一式						
○ 换気装置							
○ 自動制御装置							
○ 家生器具設備	一式						
○ 給水設備	一式						
○ 排水設備							
○ 清潔設備							
○ 消火設備							
○ 防音設備							
○ 廉価設備							
○ ガス設備							

6 指定部分 *無し・有

対象部分: 工期: 令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

- 専任期間の始終

請負契約締結の日から、①現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間・令和 年 月 日までの期間)については、主任技術者は主任技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後付け手帳が残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全般的に中止している場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 固定のとおり

9 機械設備工事概要

汚水処理施設の破碎機等排水処理設備の更新

埼玉県環境配慮方針の適用項目	①基準機材の選定 (2-3-③) ・設備更新を踏まえた計画 (2-3-④)
(12)(該当項目数: 1)	②再生品の選定使用 (2-3-⑥) ・有資物質の放量が少ない材料の使用 (2-4-②)
	③再生材の資源活用 (2-3-⑥) ・新古材の回収、破壊を行なう (4-1-①)
	④代替フロンの使用抑制 (4-1-②) ・新冷媒の採用 (4-1-③)
	⑤太陽熱利用システムの導入 (5-1-②) ・高効率機器の採用 (5-2-②)
	⑥ソーニングの低減 (5-3-①) ・外気冷房制御の導入 (5-3-②)
	⑦換気能力の低減 (5-3-③) ・ヒートポンプの採用 (5-3-④)
	⑧熱収支システムの導入 (5-3-④) ・ヨコシマネーションの導入 (5-4-①)
	⑨部材機器の採用 (6-1-①) ・雨水利用 (6-1-③) ・排水再利用 (6-1-④)
	⑩スマートハウスの採用 (6-3-②) ・再生紙の採用 (6-3-③)

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない項目は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期注の関連工事

・建築工事 ・衛生設備工事

II 工事仕様

1 共通仕様

- この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という)、国土交通省大臣官房官許補部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準年次(機械設備工事編)、(以下「機械設備工事等」という)、及び監督官の指示に従う施工する。
- なお、県宮主事の場合は、公社住宅共用設備工事規範、機材の品質・性能基準を優先とする。
- 電気設備工事及び建築工事に含む場合は、それぞれの特記共通仕様書及び機械設備工事等を適用する。
- 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時に最も新しいものを適用する。

2 特記仕様

- (1) 章印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記項のうち選択する事項は、①印の付いたものがなければ、※印を適用し、②印のものは適用しない。
- 印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

項目	内容
設計年月日	設計年月日
地盤独立行政法人埼玉県立病院機構本部	地盤独立行政法人埼玉県立病院機構本部

12 標準仕様書

13 標准仕様書

14 標准仕様書

15 標准仕様書

16 標准仕様書

17 標准仕様書

18 標准仕様書

19 標准仕様書

20 標准仕様書

21 標准仕様書

22 標准仕様書

23 標準仕様書

24 標準仕様書

25 標準仕様書

26 標準仕様書

27 標準仕様書

28 標準仕様書

29 標準仕様書

30 標準仕様書

31 標準仕様書

32 標準仕様書

33 標準仕様書

34 標準仕様書

35 標準仕様書

36 標準仕様書

37 標準仕様書

38 標準仕様書

39 標準仕様書

40 標準仕様書

41 標準仕様書

42 標準仕様書

43 標準仕様書

44 標準仕様書

45 標準仕様書

46 標準仕様書

47 標準仕様書

48 標準仕様書

49 標準仕様書

50 標準仕様書

51 標準仕様書

52 標準仕様書

53 標準仕様書

54 標準仕様書

55 標準仕様書

56 標準仕様書

57 標準仕様書

58 標準仕様書

59 標準仕様書

60 標準仕様書

61 標準仕様書

62 標準仕様書

63 標準仕様書

64 標準仕様書

65 標準仕様書

66 標準仕様書

67 標準仕様書

68 標準仕様書

69 標準仕様書

70 標準仕様書

71 標準仕様書

72 標準仕様書

73 標準仕様書

74 標準仕様書

75 標準仕様書

76 標準仕様書

77 標準仕様書

78 標準仕様書

79 標準仕様書

80 標準仕様書

81 標準仕様書

82 標準仕様書

83 標準仕様書

84 標準仕様書

85 標準仕様書

86 標準仕様書

87 標準仕様書

88 標準仕様書

89 標準仕様書

90 標準仕様書

91 標準仕様書

92 標準仕様書

93 標準仕様書

94 標準仕様書

95 標準仕様書

96 標準仕様書

97 標準仕様書

98 標準仕様書

99 標準仕様書

100 標準仕様書

101 標準仕様書

102 標準仕様書

103 標準仕様書

104 標準仕様書

105 標準仕様書

106 標準仕様書

107 標準仕様書

108 標準仕様書

109 標準仕様書

110 標準仕様書

111 標準仕様書

112 標準仕様書

113 標準仕様書

114 標準仕様書

115 標準仕様書

116 標準仕様書

117 標準仕様書

118 標準仕様書

119 標準仕様書

120 標準仕様書

121 標準仕様書

122 標準仕様書

123 標準仕様書

124 標準仕様書

125 標準仕様書

126 標準仕様書

127 標準仕様書

128 標準仕様書

129 標準仕様書

130 標準仕様書

131 標準仕様書

132 標準仕様書

133 標準仕様書

134 標準仕様書

135 標準仕様書

136 標準仕様書

137 標準仕様書

138 標準仕様書

139 標準仕様書

140 標準仕様書

141 標準仕様書

142 標準仕様書

143 標準仕様書

144 標準仕様書

145 標準仕様書

146 標準仕様書

147 標準仕様書

148 標準仕様書

149 標準仕様書

150 標準仕様書

151 標準仕様書

152 標準仕様書

153 標準仕様書

154 標準仕様書

155 標準仕様書

156 標準仕様書

157 標準仕様書

158 標準仕様書

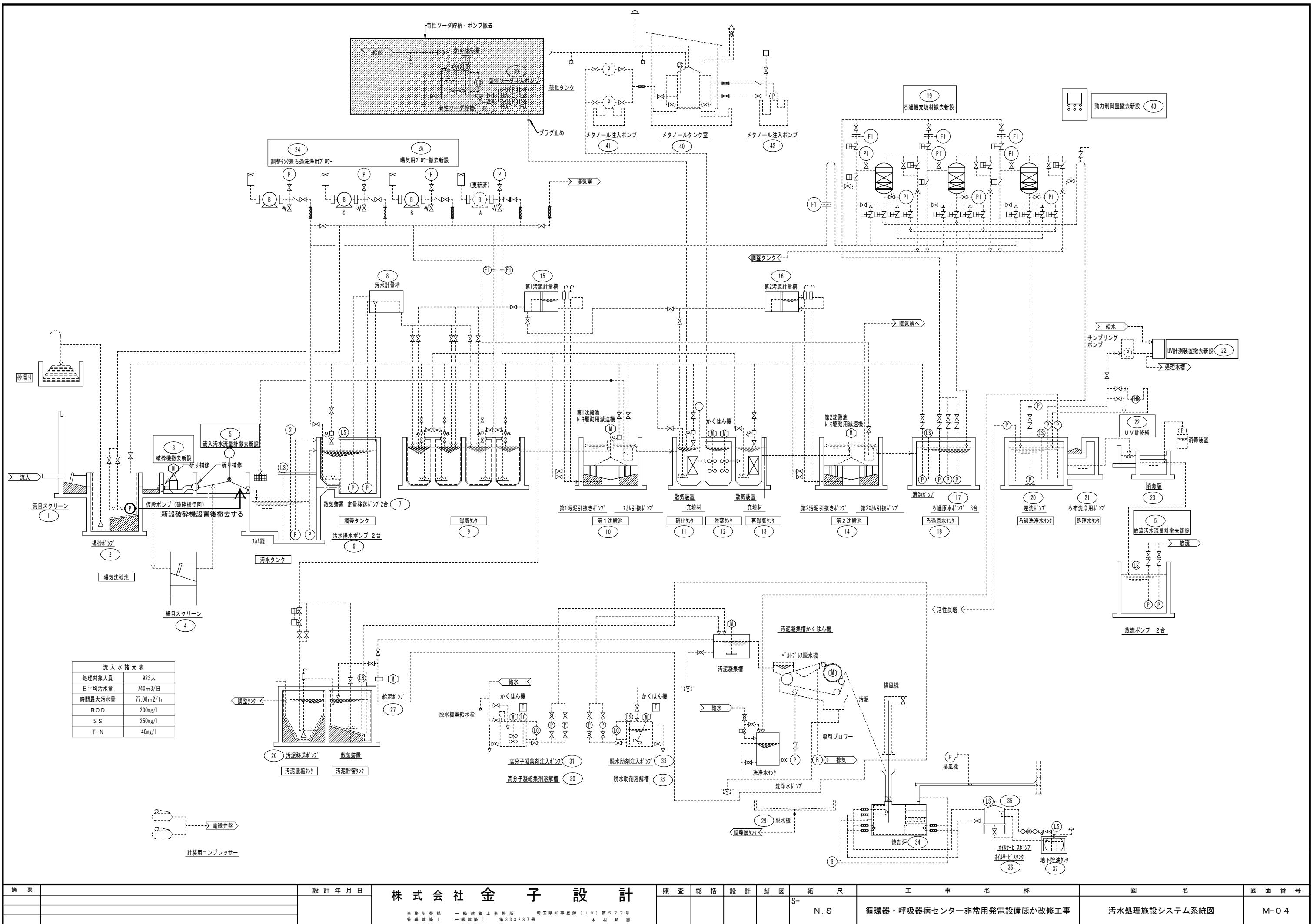
159 標準仕様書

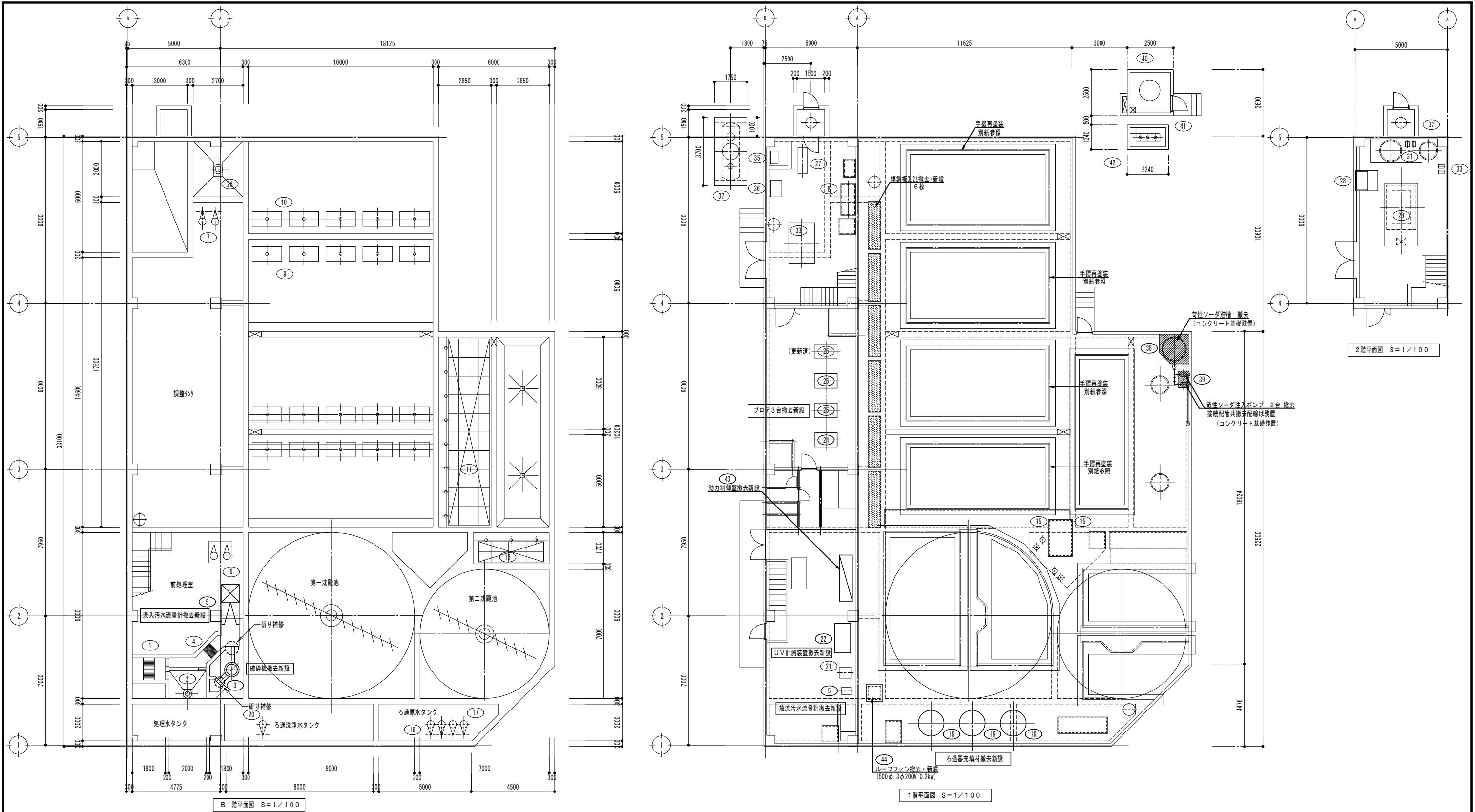
160 標準仕様書

161 標準仕様書

162 標準仕様

○ 空 气 調 和 設 備	1 設計温湿度	外 気 屋 内													
		一 段 系 統	二 段 系 統	三 段 系 統	四 段 系 統	五 段 系 統	六 段 系 統	七 段 系 統	八 段 系 統	九 段 系 統	十 段 系 統				
2 総合試運転調整	※本工事 - 別途 風量調整 %※する・しない 水星調整 %※する・しない 騒音の測定 %※する・しない 室内空気の温湿度の測定 %※する・しない 室内水流及びしぶんのいの測定 %・する・しない 初期動作状態の記録 %※する・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 %※する・しない	● 換 気 設 備	1 長方形ダクト	※低圧ダクト（垂鉄船板製） 長辺の長さ 1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 %※する・しない 高圧 1ダクト（垂鉄船板製）・高圧 2ダクト（垂鉄船板製） ・ステンレスダクト（A区分・B区分）・塗装ダクト（A区分・B区分）											
	※スパイラルダクト（垂鉄船板製・ステンレス製）・穀質塗化ビニール管（VU） ・耐火2層換気管又は耐火VP %※フレキシブルダクト（-保温付・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。														
3 煙 過	(1) 鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm) (2) はい煙濃度計 %※設ける・設けない (3) はいじん量測定口 %※設ける (測定口は 800φとする)・設けない	● 風 量 測 定 口	2 円形ダクト	※取付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・外気取入口ダクト											
4 煙 突	※別途 - 本工事			(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。											
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（垂鉄船板製） 長辺の長さ 1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 %※する・しない 高圧 1ダクト（垂鉄船板製）・高圧 2ダクト（垂鉄船板製） ・ステンレスダクト（A区分・B区分）・塗装ダクト（A区分・B区分）	● チャンバー	3 風 量 測 定 口	(1) 防煙ダスター 復帰方式 (%※遠隔・) 定格入力 DC 24V、0.7A 以下 (2) ビストロダスター 復帰方式 (%※遠隔・)											
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（垂鉄船板製・ステンレス製）・穀質塗化ビニール管（VU） ・耐火2層換気管（A区分品）・塗装ダクト（A区分・B区分）			(1) 排気ダクトのうち下記箇所は穀質塗化ビニール管（VU） (前回販売通路は換気用耐火2層管又は耐火VP) を使用できる。 ※浴室・シャワーハウス・脱衣室を含む。 (2) 水抜き管等（浴室・浴槽・※結露水が滞留する部分）の排気ダクトに接続する											
7 風量測定口	取付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・空調機出口チャンバーの分歧ダクト	● 保 温	4 ダンバー	下記のダクトの保温を行なう。 ※全熱交換器用の簡易部ダクト 仕様は N・(口)・X-1とする ※保温工事範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より 1mの部分とする。 ※(※浴室・湯沸室・) の用の簡易部ダクト (仕様は h・(イ)・Jとし 箇図は下記のとおりとする)											
8 チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) タイプ接続形の空気調和等に取り付けサブチャンバー、レタントチャンバー及びダクト端で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。			風量測定 風量測定 騒音の測定											
9 吹出口及び吸込口 ポックス	※垂鉄船板製 - グラスウール製	● 試運転調整	5 保 温	下記のダクトの保温を行なう。 ※全熱交換器用の簡易部ダクト 仕様は N・(口)・X-1とする ※保温工事範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より 1mの部分とする。 ※(※浴室・湯沸室・) の用の簡易部ダクト (仕様は h・(イ)・Jとし 箇図は下記のとおりとする)											
10 ダンバー	(1) 防煙ダンバー 復帰方式 (%※遠隔・) 定格入力 DC 24V、0.7A 以下 (2) ビストロダンバー 復帰方式 (%※遠隔・)			風量測定 風量測定 騒音の測定											
11 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用鋼管鋼管 (白)・ (2) 冷却水管 ※配管用鋼管鋼管 (白)・ (3) ライニング管 ※配管用鋼管鋼管 (黒)・ (4) 冷媒管 ※断熱機器用鋼管	● 接 煙 設 備	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は穀質塗化ビニール管（VU） (前回販売通路は換気用耐火2層管又は耐火VP) を使用できる。 ※浴室・シャワーハウス・脱衣室を含む。 (2) 水抜き管等（浴室・浴槽・※結露水が滞留する部分）の排気ダクトに接続する											
12 弁 類	規格は JIS 1又是 V-10とし、仕様記載のものは K、それ以外は図示及び共通仕様による。 また、閑電用伸縮管手の種類は図示による。			1 ダ ク ト											
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（进出口共）・冷却水管（进出口共）・※空気調和機の冷温水管（进出口共） ※ダクト接続空気調和機のサブチャンバー、レタントチャンバー、※冷温水ヘッダー（往）及び各通り管・※熱交換器の水水管（进出口）	● 衛 生 器 具 設 備	2 排 煙 ポ ー ル フ イ ル ド	1 一体形タンク											
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（进出口共）・冷却水管（进出口共） ※空気調和機の冷温水管（进出口共） ※冷温水ヘッダー（往）及び各通り管・※熱交換器の水水管（进出口）			2 排 煙 ポ ー ル フ イ ル ド											
15 漏 流 量 計	漏流量計はビトーナ方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。 ・熱源機器の冷温水管・冷却水管の进出口どちらかに (※固定形・着脱形) を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の进出口どちらかに (※固定形・着脱形) を設ける。	● 電 油 面 盤 装 置	3 衛 生 器 具 附 属 水 管	3 水 柱											
16 漏 流 量 計	往々は遠どらかの冷温水ヘッダーの接続管等に (※固定形・着脱形) を設ける。 制御側には (※給油ポンプ制御)、※蒸気滅菌装置、※遮断警報、※電磁弁制御、※油ポンプ制御) の端子を設ける。 なお、フロートタイプと制御装置の配管・配線は造作者標準仕様とする。			4 水 柱											
17 冷 却 塔	※蓄交式流 - 向流型 ※レジンラフィング殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動プローブ装置 補給水は、水道水とし、補給水供給管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	● 排 水 設 備	5 暖 房 便 使	5 水 柱											
18 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様によるは下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 %※回転制御・オノオフ制御 (2) 油温 HFC (R410A, R32又は R407C) (注) R410Aを採用した場合、冷媒配管は複数の設計圧力を満足するものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン認証推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。			6 水 柱											
標準仕様によるは下記による。												循環器・呼吸器病センター・非常用発電設備ほか改修工事			
1 設計年月日												機械設備工事特記仕様書 (2)			
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部						本部長 管理幹 主 幹 主 任 担 当 縮 尺 工 事 名 称 図 面 名 図面番号						M-O 2			





番号	機器名称	数量	備考
(1)	粗目アクリル	1	自開式取扱所
(2)	精目アクリル	1	
(3)	破碎機	1	撤去新設
(4)	粗目アクリル	1	
(5)	流入汚水流量計	1	撤去新設
(6)	汚水流量計	1	
(7)	流量計管	1	
(8)	汚水計量槽	1	
(9)	汚水計量槽内防腐漆	1	
(10)	第一沉降池内部装備	1	

番号	機器名称	数量	備考
(1)	精化ランク内部装置		
(2)	精化ランク内部装置		
(3)	精化ランク内部装置		
(4)	精化ランク内部装置		
(5)	精化ランク内部装置		
(6)	精化ランク内部装置		
(7)	精化ランク内部装置		
(8)	精化ランク内部装置		
(9)	精化ランク内部装置		
(10)	精化ランク内部装置		
(11)	精化ランク内部装置		
(12)	精化ランク内部装置		
(13)	精化ランク内部装置		
(14)	第二汎用化内部装置		
(15)	第三汎用化内部装置		
(16)	第四汎用化内部装置		
(17)	第五汎用化内部装置		
(18)	第六汎用化内部装置		
(19)	ろ過器	3	ろ過器充填材撤去新設
(20)	溶渣計量槽		

番号	機器名称	数量	備考
(22)	UV計測装置	1	修繕
(24)	調整タンク槽逆洗フロフ	1	撤去新設
(25)	曝気用フロフ	2	撤去新設
(26)	精選逆洗装置		
(27)	除油牛シゴ		
(28)	供給汚泥計量機		
(29)	斜水槽		
(30)	無力子発生前清掃場		

番号	機器名称	数量	備考
(31)	耐溶性塗装鉄注入ポンプ	1	
(32)	耐水性塗装鉄	1	
(33)	耐水性塗装鉄シル	1	
(34)	角鉄床	1	
(35)	オイルサーバーピッキング	1	
(36)	オイルサーバーサービスボンブ	1	
(37)	油分移濾タング	1	
38	苛性ソーダ貯槽	1	撤去
39	苛性ソーダ注入ポンプ	2	撤去
40	ホスホール貯槽	1	

- 凡例
 -  既存のままを示す。
 -  今回改修対象を示す。

摘要	設計年月日	株式会社金子設計 事務所登録 管理建築士 一級建築士 第333287号	照査	総括	設計	製図	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							S= A1 : 1/100 A3 : 1/200	循環器・呼吸器病センター非常用発電設備ほか改修工事		
									汚水処理施設設備図	M-05

